

1 一人ひとりの学習スタイルを把握しよう



授業のはじめに、生徒自身が学習上の「困り」を点検することは、生徒が自分の学習スタイルを把握することにつながります。さらに教員が点検結果を整理しておくことで、一人ひとりの学習スタイルが把握でき、個に応じた学習支援をすることができます。

教室の中での「困り（特性）」のチェックリスト

【黒板・ノート】

- ☐ 黒板の字が見えづらい
- ☐ 黒板のどこを書き写せばよいかわからない
- ☐ ノートに書き終わらないうちに黒板の字が消されてしまう
- ☐ ノートにどのように書き写してよいかわからない
- ☐ ノートの字が汚くて、後で読もうとしてもわからない

【先生の声】

- ☐ 先生がこちらを向いていないと、声が聞き取りづらい
- ☐ 周りの生徒がうるさくて、声が聞き取りづらい
- ☐ 先生の言葉より、他の音が気になる
- ☐ 単語や短い言葉は理解できるが、長い話は理解しきれない
- ☐ 全体に向けて話す言葉を理解しきれない
- ☐ 自分だけに向けて話す言葉でも理解しきれない

【教科書】

- ☐ 授業時に机に出すのを忘れる
- ☐ 自分で読んでいるとき、どこを読んでいるのか分からなくなる
- ☐ 誰かが教科書を読んでいるとき、どこを読んでいるのか分からなくなる

【教室環境】

- ☐ 授業に集中できる座席の位置はどのあたり？
だいたいどの位置でもOK
- ☐ 授業中、教室の中の掲示物が気になる
- ☐ 授業中、そばの友達と話してしまう／友達の行動が気になる
- ☐ 授業中、廊下や外から聞こえる音が気になる

【忘れ物】

- ☐ 持ち物や宿題の連絡は、メモを取らずに、忘れてしまう
- ☐ メモを取っても、そのメモを後で見ることを忘れてしまう
- ☐ メモを取って、そのメモも確認するが、持ってくることを忘れてしまう

【苦手な授業のタイプ】

- ☐ 黒板を黙々と書き写す授業
- ☐ 黒板・教科書・資料など、いろいろなものを見ながら進める授業
- ☐ 自分で物を作ったり、実験したりする授業（理科・美術など）
- ☐ 身体全体を動かす授業（体育など）
- ☐ 一人で作業する授業
- ☐ グループで作業したり行動したりする授業

教卓

- | | | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 窓 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 廊 |
| 側 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 下 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 側 |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

生徒はそれぞれ、読む・聞く・書く・話す・計算する・覚えるといった認知能力にアンバランスがあるものです。その場合、苦手なことをできるようにするよりも、得意なことをいかして苦手なことをカバーする方が、自己肯定感が高まり、有効であると言われています。



学びに関する「困り（特性）」のチェックリスト

【学習内容】

- ☐ 暗記したものを書くのが苦手だ（漢字や英単語など）
- ☐ 暗記したものを話すのが苦手だ
- ☐ 文章を読むのが苦手だ（音読など）
- ☐ 文章を読んで、文中の情報を取り出すのが苦手だ（「主語は？」）
- ☐ 文章を読んで、考えて答えるのが苦手だ（「要点をまとめる」）
- ☐ 文章を読んで、登場人物の気持ちを答えるのが苦手だ
- ☐ 計算式を見て、計算をするのが苦手だ
- ☐ 文章題を読んで、計算をするのが苦手だ
- ☐ 文章を読んで、自分の意見を書くのが苦手だ
- ☐ 文章を読んで、自分の意見を話すのが苦手だ
- ☐ 相手の話を聞いて、それについての意見を書くのが苦手だ
- ☐ 相手の話を聞いて、それについての意見を話すのが苦手だ
- ☐ 相手の動きを見て、そのマネをするのが苦手だ（体育など）
- ☐ “自由に”自分の考えを書くのが苦手だ（作文など）
- ☐ “自由に”作るのが苦手だ（美術・技術など）

【記憶の手段】

- ☐ 書いて覚えるのが苦手だ
- ☐ 目で見て覚えるのが苦手だ
- ☐ 口に出して覚えるのが苦手だ
- ☐ 耳で聞いて覚えるのが苦手だ
- ☐ 同じことを何度も繰り返して覚えるのが苦手だ
- ☐ 目で見たものをそのまま画像として覚えることができる

【学習活動（書く・読む・聞く）】

- ☐ 字を丁寧に書くのが苦手だ
- ☐ 書き間違いなく字を正しく書くのが苦手だ
- ☐ ICT機器を用いたタイピングであれば正確に・素早く入力できる
- ☐ 文章をつかえずに読むのが苦手だ
- ☐ 読み間違いなく、文章を読み上げるのが苦手だ
- ☐ 話を聞くのが苦手だ（話の内容はある程度理解できる）
- ☐ 聞き間違いなく、相手の話を聞きとるのが苦手だ
- ☐ 『あれ・これ・それ・どれ』などのあいまいな言葉を理解するのが苦手だ

【時間制限に対する苦手意識・集中力】

- ☐ 時間制限がないことに取り組むのが苦手だ（なかなか終わらせられない）
- ☐ 時間制限があることに取り組むのが苦手だ（焦ってしまう・過集中する）
- ☐ 授業時間内に集中を持続するのが苦手だ（途中で寝たり、手遊びをしたりする）

【対処方法】

- ☐ 勉強で分からないことを先生に聞くのが苦手だ
- ☐ 勉強で分からないことを友達に聞くのが苦手だ
- ☐ 勉強で分からないことを家族に聞くのが苦手だ
- ☐ 勉強で分からないことを自分で教科書や資料などで調べるのが苦手だ